



Team石川



小中一貫CSだより第60号 令和3年3月24日 文責：千葉 敦
めざす子ども像(15歳の姿)：自己の健康管理・安全管理に努め、文武両道に根気強く取り組む生徒

令和2年度 卒業式 挙行！

3月9日(火)、石川中学校体育館において、石川中学校第74回卒業証書授与式が行われました。3月とは思えないほどの好天に恵まれ、木村校長先生から一人一人に卒業証書が手渡されました。校長式辞とPTA会長石川均様の祝辞に続き、2年生相馬さやかさんによる伝統を引き継ぐ決意の気持ちが入められた送辞、3年生白戸

公紳さんによる先生方や保護者への感謝の気持ちに溢れた答辞が読まれました。最後に、卒業生全員が涙をこらえながらも「手紙」を合唱しました。



3月19日(金)には、石川小学校体育館で、石川小学校第140回卒業証書授与式が行われました。こちらもよい天気にも恵まれ、千葉校長先生から一人一人に卒業証書が手渡されました。小学校は体育館が狭いため、在校生の出席は5年生だけでした。しかし、校長式辞に続く「卒業に寄せて(呼びかけ)」では、少ない人数でしたが、5年生による卒業生への感謝の気持ちが入められた声が、また6年生による思い出と保護者への感謝の気持ちに溢

れた声が、それぞれ体育館に響き渡りました。最後に卒業生が「旅立ちの日に」を合唱し、感動的な卒業式を終えました。

石川地区に住む児童21名、生徒28名が、それぞれ新しいステージに進みます。特に、中学生は義務教育を終え、全員高校に進学し、自己実現に向けて広い世界に飛び込んでいきます。地域の

宝である子どもたちの進路を温かく見守ってくださるよう、よろしく願いいたします。



令和2年度 教育自立圏推進プラン評価

令和2年度の、石川中学区教育自立圏の活動が終わろうとしています。先日、小中学校三役会で今年度の活動についての評価について話し合わせ、弘前市教育委員会に提出しました。その概要を報告します。

コロナ禍による様々な制約があった中でも、学校運営協議会を中心に有形無形の協力を賜り、感謝申し上げます。来年度もよろしくお願いいたします。

下記の各項目について4段階で評価してください。

- | | |
|------------|------------|
| 4：十分に達成できた | 2：やや不十分だった |
| 3：概ね達成できた | 1：不十分だった |

(1) 評価項目	評価
① 課題(下記)に対する具体的取組は、成果がありましたか ○学習意欲や表現力・発表力の向上を核とした「確かな学力」の向上 ○自主的・積極的に行動する態度を養うこと ○たくましい体と心を育てること ○ふるさとに愛着をもち、誇りに思う気持ちを高めること	3
② 組織の運営は、計画どおりに行われましたか	4
③ 三つの教育プランは、ねらいを達成することができましたか	
「知」（授業づくり・集団づくりの共有）について	4
「徳」（ひろさき卍学の実践）について	3
「体」（健康教育の推進）について	3
④ 特色ある活動を計画し、ねらいを達成することができましたか	3
⑤ 各種活動の実施に際し、保護者・地域住民の積極的な参加協力がありましたか	3
総合評価（上記の平均値）	3.2

(2) 評価の理由を記入してください。

- ①目ざす子ども像(15歳の姿)を意識し、小・中教職員が連携してそれぞれの活動に取り組んだ。コロナ禍の影響により、体力づくりやふるさと教育に関しては、成果は十分とはいえない。
- ②小・中三役会での意志決定や共通理解、情報共有などが、組織運営全体の円滑な計画や進行に効果的で、一層の連携強化につながっている。
- ③知：石川スタンダードが優れた指標となっており効果が大きい。徳：コロナ禍により予定の行事ができなかったため、ひろさき卍学が弱火になってしまった感が否めない。体：合同マラソン等が実施できなかったが、感染予防の知識や対策の向上については教育効果を発揮した。また、健康コアカリキュラムの実施が健康教育を深めた。
- ④研究協議会などの小・中教職員の連携が学習効果を高めている。小学生が中学生の学習成果に直接触れる機会が多く、中学生になることを見据えた成長過程において大きな好影響である。
- ⑤小・中とも学習支援ボランティアの活動が好評である。またPTA合同環境整備では、多くの保護者に参加いただいている。複合施設の建築に関わり、保護者・地域住民と積極的な連携・協力が今後期待される。